

element

- (1) 元素名はローマン体で記し、普通名詞として扱う。
- (2) 元素記号はローマン体で記し、頭字を大文字とする。
- (3) 元素記号が元素を表す場合には、その元素名として読む。例えば、Au は gold, N は nitrogen と読む [☞ a, an (6)]。
- (4) 核化学の考察では、原子番号を元素記号の左下に付記する。
- (5) 同位体を指定するには、質量数を元素記号の左上に付記するか、元素名の後に記載して、両者をハイフンで結ぶ。これらを読むには、元素名または元素記号からはじめる [☞ a, an (6), chemical equation (5)]。

³⁵Cl chlorine-35

- (6) 元素記号と反応の型を表す名詞、または形容詞が組み合わされたときには、ローマン体の元素記号と次の語の間にハイフンを入れる。

N-alkylation O-substitution S-methylated

em dash

全角ダッシュの前後は詰める。

- (1) 挿入句や節の前後に、全角ダッシュが用いられるが、コンマを用いる方がより望ましい [☞ comma (3)]。

▶ Werner's coordination theory had an inherent weakness in that it postulated two different kinds of valence for inorganic substances—primary and secondary valence bonds—without any theoretical justification for their existence.

- (2) ハイフンを用いた雑誌名の略記に用いられる。

Chem.—Eur. J.

Catal. Rev.—Sci. Eng.

J.—Am. Water Works Assoc.

J.—Assoc. Off. Anal. Chem.

en dash

二分ダッシュの前後は詰める (演算子—の場合は前後をあける)。

- (1) 対等な関係にある二語からなる概念において、and, to, versus の意味で用いられる。

alkyl-heavy metal

calcite-aragonite transformation

d-d transition

dipole-induced-dipole interaction

donor-acceptor complex

high-potential iron-sulfur proteins

gas-solid reaction

ion-dipole interaction

keto-enol equilibrium

nitrito-nitro isomerization

sol-gel process

spin-lattice relaxation time

ただし、色の組合せにはハイフンを用いる [☞ hyphen (7)]。

- (2) 三個以上の数や範囲を表す場合には

(a) to, through の意で二分ダッシュを用い、数字との間は詰める。上付きの引用文献番号についても同じ。

1-3

10-100 °C

10-20 mg

Figures 1-3

(b) マイナスなどの記号を伴うときには、二分ダッシュではなく to や through を使用する。

-10 to +100 °C

-100 to -30 °C

≈40 to 50

10 to >100 mL

<10 to 20 mg

(c) from ...to ..., between ...and ... における to, and の代わりに二分ダッシュを用いることはしない。

from 10 to 100 mL

(from 10-100 mL は不可)

between -10 and +100 °C (between -10-+100 °C は不可)

- (3) 対等な関係にある複数の人名を形容詞として用いるときには、二分ダッシュを用いる。これらの人名を冠した方法、反応などには、定冠詞 the をつけるのが通常である。

Debye-Scherrer method

Diels-Alder reaction

Joule-Thomson effect

Russell-Saunders coupling

- (4) 混合溶媒の成分の間をつなぐに用いる。

ethanol-water

hexane-benzene

この場合は、二分ダッシュの代わりに、スラッシュを用いてもよい。

ethanol/water

hexane/benzene

- (5) 混合物、固溶体など、多成分系の成分の間をつなぐのに用いる。

CaF₂-YF₃

Ca-Si-O

Al-Cu-Zn

担持触媒では、担体の前にスラッシュが用いられるから、二分ダッシュとスラッシュは併用される。いずれにおいても、Al₂O₃ は担体である。

Cr₂O₃/Al₂O₃

K₂O-Cr₂O₃/Al₂O₃